2016.6.27

【笹岡委員】　　お願いします。さまざまな問題があると思いながら質問等を考えていたのですが、基本的なことをもう一度お伺いしたいと思います。

この計画案の一番最初のページの目的です。この公共施設等総合管理計画、こういった計画は、突き詰めていけばマネジメントの話なのだろうなとは思っておりますが、その目的で、３番です、「個々の公共施設等の維持・更新や再整備に留まらず、武蔵野市の将来像を見据えた大きな視点を持って、新たな価値を創造していく。」というふうに書いてあるのですけれども、この報告書を読んでいて、それは私は何なんだろうというのがわからなかったのです。

なので、どういったことを考えてどういった目的でこの言葉をここに目的として入れて、どんな答えというかどんなものが見えているのか、御説明していただきたいと思います。

　もう１点は修正版です。先ほどもあったように、全協の前にいただいた修正版に、例えば、今持っているかどうかわからないのですけれども、修正版の56ページとかですと、地域性や歴史を踏まえて地域の方々の御意見を聞きながら小中一貫等に関しては議論していくなんてあるのですけれども、学校施設にとどまらず、この公共施設等の総合管理計画、公共施設をマネジメントしていくに当たっては、全ての施設においてどんな歴史があって、どんな地域性があるのか、どんなコミュニティがそこにあるのかというのは、かなり考えるに当たってはただの数字だけの問題ではないと思うのです、人々の生活と密着しているわけですから。

それはいつやるのでしょうか。

地域性や歴史性を踏まえてというのはこれは類型別でやるというような考えでよろしいのか、お願いいたします。

【堀内総合政策部参事】　　まず新たな価値というようなところでございますけれども、先ほどのお話と少しつながるところではあるのですが、その将来の時々に必要な市民ニーズに応えていくということで先ほど申し上げました。例えば、これから高齢者への対応もふえてくるというふうに思いますし、もしかしたら大規模災害なども起こるかもしれません。

ですので、現状のサービスを可能な限り維持あるいは向上させつつ、コミュニティの固定化ですとか学校の規模の問題という現在抱えている課題も解決しつつ、そしてさらには、例えば多世代交流ですとか居場所の創出なども含めまして、今よりも付加価値のあるようなまちづくり、公共施設のあり方を考えていくということかなというふうに思っております。

　それから、地域性とか歴史性、これはいつどこで考えるのかということでございますが、今、御質問というか御意見の中にありましたように、これから類型別の中で考えていくべきものかなと思っています。例えばコミュニティセンター一つとっても、標準は全部共通ということはそれはあるかもしれませんけれども、そのコミセン一つとっても建設の経緯とか歴史、意義というものは、これはそれぞれ違うというふうに思っていますので、コミセンに限らずそれぞれの類型別の中でよく御議論をいただいて、意見をいただいて考えていくべきものかなというふうに考えております。

【笹岡委員】　　わかりました。ちょっとその点では私とはちょっと考えが違って、その歴史性とかを考えたりするというのは、住民の方との意見交換もあると思うのですけれども、その前に市が認識すべきことだと思っています。住民の方から出てきたお言葉で、ああそうだねと考えて言っているのでは、私はこれは遅いのではないかなと。現に小中一貫の学校の話は、その歴史性とか地域の話を飛び越えて進んでいますよね。もう住民説明会が開かれていて、その歴史性とかコミュニティの話になる前に、もう大混乱というような感じです。その前に、市が、この地域はこういうことがあってという大きなマネジメントというのが私はまだ見えてこないのです。

　この趣旨はわかるのですけれども、公共施設、バブル期にもたくさん建てましたし、今後どうやって維持更新していくべきか、どういった価値を生み出していくべきか、衰退しないでといったものがあると思うのですけれども、この総合管理計画、ちょっと乱暴かなと思っています。

なぜならば、ここの２ページにあります図ですと、これというのは長計の下にあって、公共施設等総合管理計画があって、その下にまた類型別施設があるわけです。結果的に、これはやっていることって、私は長計マターを越えているのではないかなと。

特に小学校の、小中一貫の話なんかを聞いていますと、学区の再編が入ってきたりとか、統廃合なんて入ってくると、これというのは長計の下にある話なのでしょうか。私は、もう少し大きく考えていくべき話、かなり重大な話だと思います。そうではなかったら、私はきのうも芸能劇場の小中一貫の未来の学校を考える説明会に伺いましたが、これはやはりやり方にかなり問題があるからこそ、住民の方があれだけ怒って疑問が噴出して、かなり強い口調になっていると思うのです。

なぜかというと、市民の生活とか子どもたちの生活とか、コミセンを使っている方とか、そういった方々の生活がかなり大きくかかわってきて、もしかしたら変わるかもしれないぐらいのことなのに、長計マターにしないで、その下の下、類型別というのは下ではなくてまたもう１個下ということですよね。そういったことに疑問が噴出しているのではないかと思うのですけれども、いかがお考えか伺います。

【名古屋総合政策部長】　　総合管理計画と調整計画の関係なのですが、当然調整計画の重点取り組みの中では、公共施設のネットワークと都市基盤の再整備ということで、この調整計画中でも重点的取り組みとして大きな一つの柱立てをしております。

この中で、総合的かつ計画的に公共施設等をマネジメントしていくという、こういった基本の考え方のもとに、先ほど委員がおっしゃった、お示しいただいた図の中にあります長期計画のもとに公共施設等総合管理計画というのを位置づけているわけです。

例として学校の話もされましたが、当然その調整計画の施策の体系の中では、これらの小中一貫についても、当然のことながら、その小中一貫教育等を踏まえて学校施設の整備基本計画に基づいた整備改修を行っていくということで計画の中にも位置づけられております。そういった調整計画の中で計画づけられたことをもとに、今、総合管理計画があり、総合管理計画の中で類型別の施設整備計画を一応その計画の年次等を示させていただいておりますが、そこで計画をこれからつくっていくという、そういう組み立てでございますので、あくまでも調整計画のもとに行っているというふうに認識しております。

【堀内総合政策部参事】　　まず、地域性、歴史性に関して市の認識を持つべきだという御意見でございますけれども、まあそれは当然のことだと思っています。市としては、長期計画もありますし、例えば都市マスタープランなどもございまして、市全体あるいは地域ごとの課題なりまちづくりの方向性というのは一定認識を持っているものでございますけれども、これから文化の基本方針ですとか新たなコミュニティ構想なども類型別の中で考えていくわけですが、今言った長計とか都市マスタープランという大きな考え方に加えまして、市民の皆様からの意見も含めて検討していくべきものではないかというふうに思っているところでございます。

　それから長計との関係で少しお話をさせていただきますと、そもそもこの類型別の施設整備計画というのは、この総合管理計画があろうがなかろうが、これは考えなければいけないものであります。ただ、それがそれぞれ類型別にばらばらに考えるのではなくて、ここでお示しをしています人口の問題あるいは財政の問題など共通する部分は、この総合管理計画をもとに、ばらばらに考えるのではなくて、これをもとにそれぞれの類型で考えていこうということのこの計画になっています。

ですから、一定の方向性を持って検討することというためにこの総合管理計画はあるというふうに思っておりまして、この絵では上下といいましょうか、こういう形にはなっておりますけれども、決して上下ということではなくて、施設整備に関してはこれを全体のベースとして考えていこうというふうに御理解いただければと思っております。

【笹岡委員】　　その点では理解しておりますが、結果的に、総合的な方向づけと今おっしゃいましたっけ、というのは、私も必要だと思います。

けれども、それを考えていって、詳しく考えていったら、かなりコミュニティの再編も起こるぞとか、住民の方の生活とか子どもたちの生活がかなり変わってくる。そうすると、結果的に武蔵野が変わってくることになるわけではないですか。だとしたら、私はもう少し大きな問題として捉えるべきではないかなと思うのです。

それは結果論であってもいいと思うのです。こうやって考えていって、問題意識を持って、このままだとさすがにだめだと、無駄なものはなくして、大事なものを残して、そしてまたもっと付加価値をつけていきたいというような方針ですよね。

でも、結局それでやっていったら、住民の生活がかなり変わるかもしれないとか、かなり意見を聞いたり歴史性を踏まえなければ、これはとてもではないけれども合意をとれるようなものではないと、何となくわかってきたのではないのでしょうか。

だとしたら私は、なぜこれだけ問題になっているかというのをもう少しわかっていただきたい。なぜかというと、これは長計マターというぐらい大きな問題だからなのです。それを、その長計にも沿っていますと。それはそうですよね、沿っていると思います。沿っているし、その下にこうやっていっていますというのはわかるのですけれども、結果的にそれが長計マターぐらいのものになっていると私は捉えております。なぜなら、住民の皆さんの生活とかなり密接して変化が起きそうだからなのです。そういったことをさっきから私は言っているのですけれども、お考えがあれば伺いたいと思います。

　もう１点、難しいところで、公共施設等総合管理計画と小中一貫の話をさせていただきたいと思います。きのうの住民説明会でもおっしゃいましたが、小中一貫の施設一体型は、公共施設等総合管理計画とは別のところでやっていますとおっしゃっていました、教育的課題でやっていますと。でもこれって限りなくこちらに、表裏一体だと思うのです。なぜならば、その類型別にもかかわってくる話だと思いますし、大元の大元の大元はここだと思うのです。になってしまうと思うのです、着地するところは。そこの考えがもし違うのだったら御説明していただきたいなと思います。まずはそれでお願いします。

【名古屋総合政策部長】　　私のほうは最初の御意見について私どもの考えを述べさせていただければ、当然その小中一貫だとかコミュニティの話というのは確かに大きな話でございます。当然、この総合管理計画も長計の見直しのサイクルに合わせて総合管理計画も見直していくということをうたっております。当然、常に長期計画とリンクしながら、整合をとりながら進めていくべき計画だというふうに考えております。

ですので、当然重要な問題については、総合管理計画の中の類型別の施設整備計画を今後策定をしてまいりますが、それについても、たびたびの長期計画、調整計画の見直しに合わせて、その計画についてももし整合がとれないところがあれば、当然それは整合を図っていくべきものだというふうに考えております。ですので、大きな、例えばコミュニティの問題で、次の第六期の長期計画の策定の中でまた方向性だとか考え方が示されれば、当然それと整合をとりつつ、例えばもしその時点であれば、その類型別の施設整備計画についてもそれは当然見直しをされていくべきものだというふうに考えております。

【堀内総合政策部参事】　　学校施設のことでございますが、これは学校施設に限らず、さっきちょっと申し上げたかもしれませんけれども、まずはソフトといいましょうか、ありようを考えるべき、その結果どういう施設なのかという順番だと思っています。

もちろん、表裏一体と言われればそういう面もございますけれども、繰り返しになりますが、基本的な考え方はそういうことだというふうに思っています。ただ、そのソフトのことを考える中でも、人口のこととか財政のこととか、これはベースとして捉えていただきたいということで考えているところでございます。

【笹岡委員】　　わかりました。まあそうなのでしょうけれども、だったら、なぜこれだけ問題になっているのかというのが、少し認識が違うのかなと思いました。なぜ全員協議会が開かれて、なぜ特別委員会ができたのか、そういったことも余り通じていないのかなと思ってしまいます。

　では、１点お伺いします。今、小中一貫の話が出たので思うのですけれども、公共施設等管理計画の説明会のお話と、パブコメとかも出ますよね。それで、ここの修正版の裏につけてくださったものだと思います。これとはまた別に、小中一貫のこの説明会をされて、これでもまた意見が出ますよね。これの中にとてもかぶってくるものがあると思うのです。総合管理計画の中の学校施設管理のところでばーっと議論がありますよね。ということは、これとこれの進め方というのも私はもう少し足並みをそろえていいのではないかと思うのです。何かこれだけが飛び出しているように見えます、私には。なぜかというと、ここの公共施設等総合管理計画では、学校施設に対してまだ決まっていないのです。でも、小中一貫の説明会ですと、私、きのう行って、行きたてほやほやで覚えているのですけれども、施設一体型が望ましいと考えていますと、それははっきり断言されました。

そして、そうするとお母さん方は必ず、では中学校区になるのかしらとなるのです。中学校に小学校が入っていくのかしら。そうすると、小学校１年生の子は中学校区で通えるのかしらという質問が出るのです、必ず。そうすると、御説明でありましたのは、18校までつくれます、組み合わせは多数なのですというふうにおっしゃるのです。

そうすると、ではこれの計画は何なのですかということになりませんか。

これは床面積を減らさなければいけないということで、学校施設も入って全ての公共施設が再編や統合や複合化、転用を考えなければいけないと言っていて、片一方で教育委員会等がこれで住民説明をしているときに、18校までつくれます、組み合わせは多数なのですなんておっしゃって、住民の方はどう捉えるのでしょうか。

では減らないかもしれないなと思いますよね。私がその質問後に聞きましたのは、できないことを言っていませんかと聞いてみたのです。

18校つくるというのは、さすがに私もこの計画を見ていてできないだろうなと思って聞いていたのですけれども、そういった可能性もあるようなことを市民の方に説明していいのでしょうか。

できなかったときに、市民の方がそうやって捉えて帰宅されて、あけてみたら全然違う計画だったと。自分の息子が、娘がすごく歩かなければいけないことになった、学区が遠くなったとか、そういったときに、私はそういった説明はよろしくないのではないかなと思いましたが、この公共施設等総合管理計画との整合性もあわせて御説明いただきたいと思います。

【竹内教育部長】　　教育の側で行った意見交換会の御質問内容ですので、私のほうからお答えします。ゼロから18校までの可能性があるという趣旨での回答なのですが、その中では、（発言する者あり）ゼロというのは、行わないという選択肢も含めてです。

その中での可能性のお話として申し上げていますし、むしろ意見交換会の中ではどのような施設規模のあり方、施設規模から先には意見交換会の中ではしていませんけれども、どういう方向性が御希望としておありなのか、それをお伺いしたい、そういう趣旨で、例えば中学校区でというお話も出ましたし、それから身近なところで、１年生が通うという意味では身近なところでというお話も出ましたし、そういった御意見を踏まえて私どもとしてはその先を考えていくものだと考えていますので、あくまでも選択肢の幅ということでお話をしております。

【与座委員長】　　整合性の話はどうなのですか。

【堀内総合政策部参事】　　まず、足並みをそろえてということでございますけれども、この総合管理計画は庁内の策定本部の中で検討してまいりました。その中には教育部局も当然入っておりますので、そういう意味では足並みをそろえてやっているというふうに思っております。それから、小中一貫あるいは施設一体型という議論は教育のほうで今やっていただいているわけですけれども、仮にそういう形にならなかったとしても、例えば総合管理計画にも書いてありますが、学校そのものの規模の問題もあると思います。子どもが将来的には減ってくるということも含めまして、床面積を減らすというよりはコンパクトにするといったほうが正しいかもしれませんけれども、それから複合化というようなことも選択としてはあると思っていますので、必ずしも小中一貫ということだけではなくて、いろいろな考え方でコンパクトにできればいいかなというふうに思っているところであります。

【笹岡委員】　　そうすると、市の姿勢と教育委員会の姿勢がまた違ってくると私は思うのです。

市はコンパクトにしたいと。

コンパクトというものと施設一体型の学校というのは、それは一緒と捉えていいのでしょうか。かなり何か温度が違うなと私は思いました。

もう少し住民説明に対して責任を持っていただきたいと思います。なぜならば、その説明を受けて住民の方は帰られるわけなのです。ゼロから18、その話になった、では何でこんな話になったかというと、質問はこうでした。

千川小学校に通っておりますと。私はとても千川小学校が好きなのですけれども、千川小の上に中学校とか、そういうことなのでしょうかねみたいな感じだったのです。私は、小学校の上に中学校、確かに小学校の親からしたら少人数だし、小学生が中学校区に通わなくていい、確実に遠くなることが免れられるということでおっしゃっていました。

それに対して、18通りありますというふうにお答えするのは、私は、いや、できるのだったらいいのですけれども、今の現状でできるのでしょうか。

教育のあり方を考えるという面でさまざまな方法を熟慮することはいいと思いますけれども、その方法を熟慮する中で、できそうにないことというのは私は住民の方に説明してはいけないと思うのです。

そういったつもりではないというふうにおっしゃるのかもしれませんが、確実に勘違いをして帰られた方もいると思います。そういったときにどのような責任がとれるのでしょうか。いつそれが修正できるのでしょうか。

私は、特に小中一貫の説明に関してですけれども、できることを言っていただきたい。

施設一体型も皆さん必ず言うのです。運動会はどうなるのですかとか、小学生が歩いて通えますかとか、部活はできるのですか、スポーツはできるのですか、学童はできるのですか、そういったところもできる範囲のことを言っていただきたいのです。それはできるのかなというようなこともできますといったていで話してはいけないと思うのです。

そうでないと信頼を失うからです。

そのことに対して御意見があれば、反対意見でもいいですし、伺いたいと思います。

　もう１点要望ですけれども、ここのパブコメの後ろに、先ほど申しましたが、学校教育施設関連で、やはり小中一貫の話、慎重にしてくださいといった意見があるわけなのです。

なので、今のお話ですと、これの話のパブコメはこれ、小中一貫の報告のパブコメはこれなのですけれども、私は１カ所に結果的に集中したほうが、重複でもいいですし、したほうがいいのではないかと思いますが、そこの意見も伺いたいと思います。

【竹内教育部長】　　18校のことについてですが、あくまでも先ほど申し上げたとおり、ゼロから18の間の可能性のお話ですので、きのうの意見交換会の中で申し上げたかどうかわかりませんが、ほかの意見交換のときにもお話がありまして、そのときには、可能性としてはありますけれども、例えば多くつくっていくという場合には、中学校部分が小さくなりますよね、それでいいのでしょうかというようなことは、考えていただく上での材料としては申し上げておりますので、私どもとしてはどの方向を御希望されているのか、それを可能性の問題としてお伺いしておきたいという趣旨でございます。

【堀内総合政策部参事】　　パブコメの件でございますけれども、まず、お手元の緑の学校のほうについては、先ほども申し上げましたけれども、基本的にはソフトのことだと。ですから、パブコメも基本的にはそういうことが多いのではないかなというふうに思っております。それから、公共施設のほうは、これはソフトも含めての部分も当然ありますけれども、どちらかというとハードのほうかなという気がいたしておりますけれども、双方共通するようなものについては、当然その情報は共有してこれから検討を進めてまいりたいというふうに思っております。

【笹岡委員】　　ぜひ共有してください。そうでないと、ここの総合管理計画に来ているパブコメの学校教育施設、小中一貫に触れていますよね。ここの意見が宙ぶらりんになってしまうと思います。これの意見とこれの意見というのはつながっていますので、ぜひそこは、つながっていると考えないからこれだけ怒られるんだと思うのです。なので、つなげて考えてください。

　もう１点、ちょっともう１回初めに戻って仕分けについて伺いたいのですけれども、仕分けをするのは類型別、仕分けというか、詳しく、ではこの施設は複合化したほうがいいのではないかとか、この施設は統合したほうがいいのではないかとか、そういったことは類型別でされるのでしょうか。私はそれはちょっと逆ではないかなと。最終的にもってくるのは、もう少し大きな部門のところにもっていって、報告して動くべきだと思うのです。類型別で考えていって、類型別って考えてみたらワーキングチームみたいな感じではないですか。いろいろもっと詳しく考えていって個別で考えていって。だったら、それを一回ここの上のところ、私は長計でいいと思うのですけれども、そこに戻さなければいけないと思うのです。

首を振っていますけれども、なぜかというと、そのくらい大きな問題だからだと思うのです。類型別で走り出していいというものよりも、とても市民の方の生活に密着していることを考えたら、とても慎重に慎重に進めなければいけないし、一度ここに戻して大きなマネジメントで市の全体を見渡した確認作業というのが必要ではないかと思うのですけれども、お考えを伺いたいと思います。

【堀内総合政策部参事】　　まずその複合化のことですが、先ほどの類型別で考えるのですよねと言われたとき、ちょっと間違って縦に首を振ってしまったのですけれども、実はそうではございませんで、この総合管理計画案の類型別方針というところがございます。

この中に、例えばですが、学校と地域施設との複合化、あるいはコミュニティセンターとの複合化みたいなことは、双方に書いてございます。これは先ほど申し上げましたように、全庁的な策定本部という中で、それぞれの部門が入って、これは現段階では一つの検討の素材ではありますけれども、やっているということですので、庁内の調整というか連携はとれているということでございます。

　それから、今後、仮にこの計画案ができてからのことですけれども、今、先ほど申し上げました策定本部というのは、この計画ができたところで一度解散はいたしますけれども、恐らく同様の庁内組織を持って、それぞれ個別、分野別に走るのではなくて、全体の連携調整を図る組織をつくって、この計画の進捗を進めてまいりたいというふうに思っているところでございます。

【笹岡委員】　　今、複合化等に関しては庁内の連携がとれているとおっしゃいましたので、ぜひ連携してやっていただきたいと思います。

そういった面では、その学校教育施設においても庁内の連携をとっていただきたい。今、この住民説明会を見ていて、住民の方が必ずしも納得して帰られている感じはないのです。疑問が余計に大きくなって、かなり不満な感じで帰られています。ある方は、もう時間がオーバーしたから、私はアンケートに頑張って書きましたから、発言はしなくていいですなんていうふうにおっしゃるぐらい、皆さんすごくいろいろな意見があると思うのです。

なので、庁内連携をする、そしてここの学校教育施設も庁内で連携してください。

説明のかげんも連携してください。

どこまで言っていいのか、どこまでできるのか、公共施設等総合管理計画案の総合的な方向性からそれは外れていないのか、ゼロから18という説明は外れていないのか、そういったことも庁内で連携してください。

そして、庁内で連携するだけではなく、住民の方の生活とかなり密着していますから、そこの合意を丁寧にとっていただきたい。今の、仮に学校施設の、教育のあり方だけでも合意はとれているというような兆しは私は全く見えていないのです。

なので、これは庁内で連携をとって類型別施設整備計画でやっているというふうにおっしゃいましたが、そこから先も横の連携、今あると言いましたが、私は学校施設に関しては連携は足りないと思います。

プラス住民の方です。住民の方の生活が一番なわけなのですから、そこの合意形成というのをもう少し考えていただけないと、とても乱暴なやり方をしたというふうな印象になってしまいます。それに関して、今後について等の意見がありましたらお願いいたします。

【名古屋総合政策部長】　　住民の皆様への御理解とか、住民の皆さんの御意見を伺うというのは、これまでも私どもも教育委員会も丁寧に行っているというふうに考えておりますが、より一層その辺は丁寧に御説明を申し上げ、そして御意見を伺うように努力してまいりたいというふうに考えております。

　それから、庁内の連携についても、当然この総合管理計画案についても、今後庁内の実施本部についても全庁的な取り組みで進めてまいらなければならない重要な問題だというふうに考えておりますし、市長部局、教育委員会ともども情報の共有、そして連携を密に、これからもその計画案の策定についてはそのような形で進めていきたいというふうに考えております。

【笹岡委員】　　わかりました。本当に慎重に進めていただきたいなと思います。学校施設に関しては、教育のあり方をまず初めにやるというふうな御説明で始まったと記憶しています。けれども、できることとできないことがあるわけではないですか。現に施設一体型が武蔵野でできるのでしょうか。校庭は足りるのでしょうか。そういったことというのは教育のあり方のありようとか考えるに当たって非常に密接してくると思うのです。なので、そこは切り離して考えて、できないことまで構想に入れて、これから検討します、デメリットに関してはこれから研究し検討しますというお答えばかりですけれども、そういったことを続けていくと、最終的に住民の方の信頼を失うと思います。もう少しそういったところ、公共施設等総合管理計画のこの道しるべを示してくださることはよいと思います、正しいデータに基づいているのならば。しかしながら、学校教育施設だけに関してもこれだけ紛糾していて、親御さんたちの心配は募っていると。教員の方たちの不安が募っている、そういった状況で、その丁寧なやり方は、丁寧に足を運んでくださっていると思います。きのうも休日の時間を使って本当に大変だなと思いましたが、だったら、なぜでは合意を得られずに不満がたまって帰られるのかというのを見たときに、ではやり方がおかしいのではないか、進め方が間違っていたのではないかと。そういったふうに考えていただきたいと要望いたします。

　以上です。